



理事長報告



第2代理事長 浅井 豊司

一般社団法人北名古屋青年会議所は第二年度を迎え、私を筆頭に青年会議所運動の経験未熟なメンバーのもと、あらためて青年会議所として、また JAYCEE としての真価を問われました。初年度が築いてくれた運動の礎の上で、仲間とともに自由闊達に意見を交わし、不慣れなことに会う度に悩み、それを一旦は受け入れて、答えを探す。そんな旅を1年間続けてきました。そして旅の途中で良縁に恵まれ、たくさんの仲間が合流し、さらに有意義な時間を積み重ねることができました。

2016年度は北名古屋州市制10周年の記念すべき年度となりました。所信において、北名古屋のまちの特徴である自然・文化との共生を方針として掲げたところ、市制10周年記念事業として「田んぼアート」を多数の団体等と協同で実施することができました。育苗から田植え、鑑賞会、稲刈り・収穫祭まで通年事業として、多くの市民(特に子どもたち)に参加していただき、五感を使ってこのまちの自然の魅力を感じていただきました。10年後、20年後に大人になった子どもたちが、五感に刻まれた原体験を思い出して、自然と共生するまちづくりを実現してくれれば、それこそ青年会議所運動の成果です。

私たちは、明るい豊かな社会の実現を目指しています。しかし、明るい豊かな社会を作るのは、私たち JC ではありません。それを実現できるのは市民一人ひとりであり、市民の手の中にこそ、まちの未来があるのです。だからこそ、より多くの市民にまちの魅力に気づいてもらう必要があります。まちの未来を考える機会を作りださなければならないのです。この先10年、20年と、ずっとまちは変化し続けていきます。その先々で、北名古屋 JC が市民の前向きな考えを引き出し、積極的に関わる姿勢を導いていると信じています。

「私たちの前に道はない。私たちの後ろに道ができる。」。私は入会2年目で理事長職を拝命し、1年間運動の先頭に立たせていただきました。2017年度、そしてその後に続く皆様も恐れることはありません。前を向いて、ただ前を向いて歩いていけばいいのです。周りを見渡せば支えてくださる方ばかりです。

最後に、第二年度の運動にご協力いただいたすべての方々に感謝を申し上げますとともに、皆様が活躍し、運動がさらに広がることを祈念し、第2代理事長の報告と致します。